

# 製品安全データシート

作成 #####  
改訂 #####  
改訂 #####

製品名 : パーフェクトーKA

---

## 1. 製品及び会社情報

製品名 : パーフェクトーKA  
会社名 : リンク・アンド・シェア・オペレーションズ株式会社  
住所 : 〒982-0244 宮城県仙台市太白区秋保町馬場字町北49-2  
TEL 022-399-5051 FAX 022-399-5052  
担当者 : 中野 勝則  
緊急連絡電話番号 : 同上

---

## 2. 危険有害性の要約

GHS 分類

### 物理化学的危険性

火薬類 : 分類対象外  
可燃性/引火性ガス : 分類対象外  
可燃性/引火性エアゾール : 分類対象外  
支燃性/酸化性ガス : 分類対象外  
高压ガス : 分類対象外  
引火性液体 : 区分外  
可燃性固体 : 分類対象外  
自己反応性化学品 : 分類対象外  
自然発火性液体 : 区分外  
自然発火性固体 : 区分外  
自己発熱性化学品 : 区分外  
水反応可燃性化学品 : 区分外  
酸化性液体 : 区分外  
酸化性固体 : 分類対象外  
有機過酸化物 : 分類対象外  
金属腐食性物質 : 区分1

### 健康に対する有害性

急性毒性(経口) : 分類できない  
急性毒性(経皮) : 分類できない  
急性毒性(蒸気) : 分類できない  
急性毒性(吸入:ミスト) : 分類できない  
皮膚腐食性/刺激性 : 区分1(データが無いため分類できないが、pH13以上あることから区分1とした)  
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分1(データが無いため分類できないが、pH13以上あることから区分1とした)  
呼吸器感受性 : 分類できない  
皮膚感受性 : 分類できない  
生殖細胞変異原性 : 分類できない  
発がん性 : 分類できない  
生殖毒性 : 分類できない  
特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 分類できない  
特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 分類できない  
吸引性呼吸器有害性 : 分類できない

### 環境に対する有害性

水性環境有害性(急性) : 分類できない  
水性環境有害性(慢性) : 分類できない

Z-KA 1/4

GHSラベル要素



注意喚起語

: **危険**

【最重要危険有害性】

人体に対する有害な影響 : 皮膚や粘膜に刺激がある。特に眼には危険であり、結膜や角膜を侵す。視力低下や失明する事がある。

環境影響 : 水生生物に有害

物理的及び化学的危険性 : 特になし

化学物質等の分類 : 分類の基準に該当しない

危険有害性情報 : 金属腐食のおそれ  
飲み込むと有毒  
重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷

注意書き : 使用前に安全注意を読み、理解するまで取り扱わないこと。  
保護手袋、保護眼鏡、保護面等の保護具を着用する事。

---

3. 組織、成分情報

単一製品・混合物の区分 : 混合物

化学名又は一般名 : ポリオキシアルキレンラウリルエーテル  
ヤシ油脂肪酸アミドプロピルジメチルアミンサンベタイン  
苛性ソーダ(補助剤)3%

成分及び含有量 : 主剤 4.9%  
補助剤 苛性ソーダ3%

CAS No : 1310-73-2(苛性ソーダ)

P R T R 法 : 該当物質なし

化 審 法 : 1-410(苛性ソーダ)

安 衛 法 : 該当物質なし

消 防 法 : 該当物質なし

土壌汚染対策法 : 該当物質なし

---

4. 応急措置

吸入した場合 : 新鮮な空気の場所に移動させ安静にさせる。

目に入った場合 : 直ちに清浄な流水で15分以上洗浄し、刺激がある場合は、医師の診察を受ける。  
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

皮膚に付着した場合 : 水又は温水で洗い落とす。皮膚に異常が出た場合は、必要に応じて  
医師の診察を受ける。

飲み込んだ場合 : 水を多量に飲ませ、無理に吐かせず医師の診察を受ける。

応急処置をする者の保護 : 救助者は可能な限り保護具(手袋、眼鏡等)を着用する。

---

5. 火災時の措置

消 火 剤 : 指示はない。

消 火 方 法 : 不燃物である。周辺火災の場合、速やかに安全な場所に移す。

使ってはならない消火剤 : 情報なし

火災時の特有危険有害性 : 燃焼ガスには、一酸化炭素等の有害ガスが含まれるので、消火作業時には  
煙の吸入を避ける。

消火を行なう者の保護 : 消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。

---

## 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 漏出時の処理を行う際には、必ず簡易マスク、ゴム手袋、長靴、保護メガネ等を着用すること。  
環境に対する注意事項 : 多量の場合は、河川への流出を防止する。  
封じ込め及び浄化の方法 : 少量の場合は、水で洗い流す。多量の場合は、空容器に出来るだけ回収し、ウエス等で拭き取った多量の水で洗い流す。

---

## 7. 取扱及び保管上の注意

- 取 扱 : 簡易マスク、ゴム手袋、長靴、保護メガネ等の保護具を着用する。  
保 管 : 直射日光下・30度以上の高温になる場所を避け密栓し、屋内に保管する。  
氷点下で凍結するので、冬期は凍結しない場所に保管する。  
一度開封された容器は、注ぎ口をきれいに拭き取り、完全密封して保管する。  
保 管 量 : 備蓄量の制限はない。  
保存期間 : 目安として1年間以内に使い切る。

---

## 8. 暴露防止及び保護措置

- 設備対策 : 密閉された場所では使用しない。取扱については、通気性の良い所または、換気しながら使用する。  
管理濃度 : 設定なし  
許容濃度 : 設定なし  
日本産業衛生学会 : 設定なし  
ACGIH : 設定なし  
保護具 : 必要に応じて簡易マスク、ゴム手袋、長靴、防護メガネ等を使用する。

---

## 9. 物理的及び化学的性質

### 【外 観】

- 物理的状態 : 液体 (常温)  
色 : 無色透明  
臭 い : 微かな薬品臭  
pH : 13.0以上

### 【物理的状態が変化する温度】

- 沸 点 : 100℃  
引 火 点 : 引火せず  
発 火 点 : 発火せず  
爆 発 限 界 : 下限、上限とも設定なし  
比 重 : 1.03 (25℃)  
粘 度 : 27.4Pa·s (15℃)

### 【溶 解 性】

- 水 : 水溶性、軟水、硬水で性能不変  
その他の溶媒 : 設定なし

---

## 10. 安定性及び反応性

- 安 定 性 : 他の洗剤、溶剤に可溶安定。  
反 応 性 : Al、Sn、Zn、Cr等の金属及びこれらの合金を溶解し、水素を発生させる。  
避 け る べ き 条 件 : 30度以上の場所に長時間放置しないこと。  
避 け る べ き 物 質 : 特になし  
危 険 有 害 分 解 生 成 物 : 特になし

---

## 11. 有害性情報

- 急性毒性 : データなし  
皮膚腐食性・刺激性 : データなし  
眼に対する重篤な損傷・刺激性 : データなし  
呼吸器感作性又は皮膚感作性 : データなし  
生殖細胞変異原性 : データなし  
発がん性 : データなし  
生殖毒性 : データなし  
特定標的臓器・全身毒性 単回暴露 : データなし  
特定標的臓器・全身毒性 反復暴露 : データなし  
吸引性呼吸器有毒性 : データなし

---

## 12. 環境影響情報

- 移動性 : 物理化学的性質からみて、水域・土壌環境に移動しうる。
- 残留性 / 分解性 : 本剤ではパーフェクト-KIに対してアルカリ度を高めた製品であり、アルカリ起因物質である苛性ソーダ(NaOH)は有機物ではないので、生分解性には関与しない。  
よって、パーフェクト-KのOECD規格によるDOC法での生分解性の試験結果に準ずる。  
このことから本剤の生分解性は83%とする。

---

## 13. 廃棄上の注意

- : 1500倍以上の希釈処理の上廃棄。あるいは、産業廃棄物処理業者に委託。  
酸で中和処理し、100倍に希釈して廃棄する。  
空容器を廃棄する場合は、内容物を処理した後処分する。

---

## 14. 輸送上の注意

- 国際規制 : 該当なし
- 国連分類 : クラス8 腐食性物質
- 国連番号 : 3267(液体)(有機物)(アルカリ性)
- 輸送の特定の安全対策 : 「7. 取扱及び保管上の注意」の項の記載に従うこと。
- 及び条件 : 運搬に際しては、容器から漏れがない事を確かめ、転倒・落下・損傷などに注意して積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。積載にあたっては酸類から遠ざけ、有機薬品の上に重ねない。
- 海上輸送及び航空輸送 : 非危険物につき混載可。

---

## 15. 適用法令(苛性ソーダ(補助剤)のみ)

- 水質汚濁防止法 : 水素イオン濃度の項目
- 労働安全衛生法 : 第57条の2 通知対象物
- 化審法 : 既設化学物質

---

## 16. その他の情報

- : 本製品安全データシート(MSDS)は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、MSDS中の注意事項は通常の実施を対にしたものです。製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は、用途・使用法に適した安全対策を案の上、製品を使用して下さい。また、当社は、MSDS記載内容について十分注意を払っていますが、その内容を保証するものではありません。





後、

象  
施